

村上市塩野町地域

まちづくり計画書



平成24年3月制定

平成29年3月変更

塩野町地域まちづくり協議会

この計画書は、塩野町地域内の各集落から推薦により選ばれた、地域まちづくり設立準備会委員が作成した計画書です。

実際にまちづくり組織が設立し、協議会の活動や取り組みにおいては、各地域の状況や地域住民の取組環境に弾力を持ち、発展しながらより良い協議会を運営して行きたいと考えています。

塩野町地域まちづくり計画

1. 地域の特徴、課題

塩野町地域は、朝日地区の北西部に位置し、北は山北地区に境しています。三面川水系高根川の上流、大須戸川・塩野町川の流域に塩野町・松岡・早稲田・原小須戸・本小須戸・荒沢・大須戸の集落が点在し、また、蒲萄山麓に位置する蒲萄集落を併せた計8集落から構成され、地形は北から南に暖斜しています。

当地域は、明治時代末の合併により、塩野町・松岡・早稲田・小須戸を有する塩野町村と蒲萄・大須戸・荒沢を有する大須戸村が合併し61.2km²を有する塩野町村となりました。以降、昭和29年町村合併促進法の施行によって、館腰村・三面村・高根村・猿沢村・塩野町村の5ヶ村が合併して朝日村となり、平成の大合併で現在の村上市となっています。



地域の基幹産業は、469haを基盤とした農業と、昭和59年畜産基地建設事業により経営環境が整備され畜産業も盛んに行なわれています。また、ぶどうスキー場・新保岳などの観光資源が地域への誘客となっています。

交通面では、地域のほぼ中央を国道7号線が縦貫しており、これを基幹に県道・市道が集落間を結んでいます。特に国道7号線と並行する日本海沿岸東北自動車道の延伸により、近郊市街地との結びつきが密接になる反面、交通混雑・交通事故の多発・騒音公害など生活環境が悪化してきており、地域内の高速道路の開通を求める声が大きくなっています。

社会的条件としては、昭和の大合併直後にあたる昭和30年の旧朝日村人口が19,184人だったのをピークに、平成23年4月1日では、10,950人となり、人口減少や少子高齢化の進行により地域活動や組織そのものが継続困難な状況になりつつある集落が現れようとしています。地域固有の伝統・文化などの財産を、守り育てながら地域コミュニティの活性化を図り、元気で輝く笑顔を後世に伝えていくことが課題となっており、地域の魅力や問題点についての共通理解を図り、自分たちの地域への感心や愛着を原動力に地域まちづくりを進めます。



2. 地域のまちづくりの理念、将来像（目標年度：33年度）

『交流と助け合いを通じて、いつまでも住み続けられる固有の環境を整える』を理念にかかげ、5つの将来像を達成するため、住民と行政が一体となり魅力あるまちをつくる。

（将来像）

- ・農業を行う環境が整って経営も安定し、新たな交流の創出と里山の保全が進んでいる。
- ・地域内外の交流が盛んになり、コミュニケーションのとれた賑わいが生まれている。
- ・地元学を学ぶ機会が増え、四季を通じたイベントや伝統行事が盛大に行われている。
- ・観光産業が発展し、若者の定住が増えている。
- ・地域内の相互扶助やボランティア活動が盛んになり、清潔で安心安全な生活が営まれている。

※平成28年度に計画見直しを行い、平成29年度から計画変更

3. 具体的な取組みの方向性、実施事業等（計画年度：24年度～33年度）

基本方針	取組みの方向性や実施する事業
地元の農産物を生かし、地域住民が繋がりをあえる取り組みや伝統文化の継承を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農産物を流通させるしくみを作る。 ・地域の農作物を味わう催しを開催する。 ・地域内で地場農産物などを販売・購入する機会・場を提供する。 ・地域おこし協力隊とも連携し、世代や集落を越えた地域全体の交流を促し、つながりを深める。 ・塩野町の食文化を伝承する取り組みを行う。
相互扶助の強化と、地域資源の環境整備を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・お宝マップを活用し、地域資源を生かすための取り組みを行う。 ・地域を支える人材を育成し、相互扶助及び小規模多機能自治を推進強化する。 ・環境美化活動を行う。
協議会の取り組みを広く周知し、情報受発信の仕組みを強化し、地域振興につなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報を掲載した印刷物をつくる。 ・まちづくりに関する学習機会や情報を提供し、地域振興につなげる。 ・集落行事を地域全体で盛り立てる仕組みをつくる。

4. 事業計画年度（実施年度：24年度～33年度）

※●計画あり実施あり ※計画 ●実施

基本方針	事業項目	H24～28年度 事業実施状況					H29～33年度 事業実施計画（見直し後）					備考
		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
地元の農産物を生かし、地域住民が繋がりをあえる取り組みや伝統文化の継承を行う。 【産業振興部門】 【交流・伝承部門】	地域農産物を流通させるしくみを作る		●	●	●	●	※	※	※	※	※	
	地域の農作物を味わう催しを開催する。	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※	※	※	※	※	
	地域内で地場農産物などを販売・購入する機会・場を提供する。							※	※	※	※	
	地域おこし協力隊とも連携し、世代や集落を越えた地域全体の交流を促し、つながりを深める。	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※	※	※	※	※	
	塩野町の食文化を伝承する取り組みを行う。		※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※	※	※	※	※	
相互扶助の強化と、地域資源の環境整備を行う 【共助・観光部門】	・お宝マップを活用し、地域資源を生かすための取り組みを行う。	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※	※	※	※	※	
	・地域を支える人材を育成し、相互扶助及び小規模多機能自治を推進強化する。							※	※	※	※	
	・環境美化活動を行う。	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
協議会の取り組みを広く周知し、情報受発信の仕組みを強化し、地域振興につなげる 【企画・広報部門】	・地域情報を掲載した印刷物をつくる。	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※	※	※	※	※	
	・まちづくりに関する学習機会や情報を提供し、地域振興につなげる。				●	●	※	※	※	※	※	
	・集落行事を地域全体で盛り立てる仕組みをつくる。	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※ ●	※	※	※	※	※	